



# みどりが丘だより

## contents

いきいき健康フェア  
血管撮影装置リニューアル  
認知症ケアチームなつまつり  
職場紹介／入院サポートセンター  
ナースマンに聞いてみた  
薬剤師の一口メモ  
栄養管理室だより  
信州上田地域連携だより

# いきいき健康フェア 2024 を終えて

副看護部長 古田 博子



21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要です。こうした心を、老若男女を問わずだれもが育むきっかけとなるよう、旧厚生省により「看護の日」が1990年に制定されました。この看護の日のイベントの一環として去る6月29日土曜日イオンスタイル上田で今年も「健康フェア」を開催しました。晴天に恵まれ地域の方々など約500人に上る来場者でにぎわいました。健康フェアは医療相談や健康チェックを体験していただくことで医療に対する知識や意識を高め、もっと病院を身近に感じてほしいという思いから開催しています。

私は、熊本県出身です。2016年4月14日と16日に震度7の地震の記憶は、その頃私は東京にいましたが、何年経っても薄れることはありません。伝え続けることが大事だと思います。そして、今年1月1日に発生した能登半島の震災から早6ヶ月



を経て、みな記憶から少し薄れそうな中、当院のDMAT（「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとって略してディーマットと呼ばれています）が能登半島での活動を知っていただく良い機会と考えました。

「骨密度」「体組成測定」「血圧」「握力」などのおなじみのプログラムに加え、今年はDMAT車の展示、手作りのDMATユニフォームには、医師、看護師等の職種が判別できるワッペンが付いているベストを着た写真撮影、能登半島での活動の放映など新しいブースも多数出展しました。

来場された方から「楽しかった」「おもしろかった」「かっこいい」という感想を多数いただいたほか、「病院を身近に感じることができた」「自分のからだのことを見直す良い機会になった」「DMATを知れて良かった」などのさまざまなご意見をたくさんいただきました。

これからも当院は地域に密着した、みなさまに親しまれる病院を目指して、職員一同努力してまいります。ご来場いただいたみなさま、誠にありがとうございました。



## 血管撮影装置リニューアルのご紹介

2024年6月より、血管撮影室のリニューアル工事を行い、Canon社製の血管撮影装置 Alphenix BPを導入し、7月より運用開始しました。

この装置は、頭部領域、心臓領域、腹部領域を含む全身領域における血管カテーテル撮影による検査・治療に用います。

当院では血管の診断に加えて、脳卒中や心筋梗塞、下肢動脈閉塞に対して血管内治療も行っています。

血管撮影装置は、低侵襲な治療法であるカテーテル治療にかかせない装置です。脚の付け根や腕の血管からカテーテルを挿入して造影剤を注入し、エックス線を使用し血管を描出できます。血管や血流の状態を見られるほか、詰まりや細くなっている血管を広げる治療や、頭部血管病変などの治療ができます。

今回リニューアル導入した装置は、以前より画質や操作性が向上し、早急な診断・治療に繋がっています。また放射線の被ばくも低減し、より体に負担の少ない治療が提供できるようになりました。

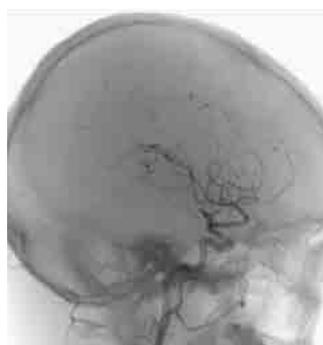
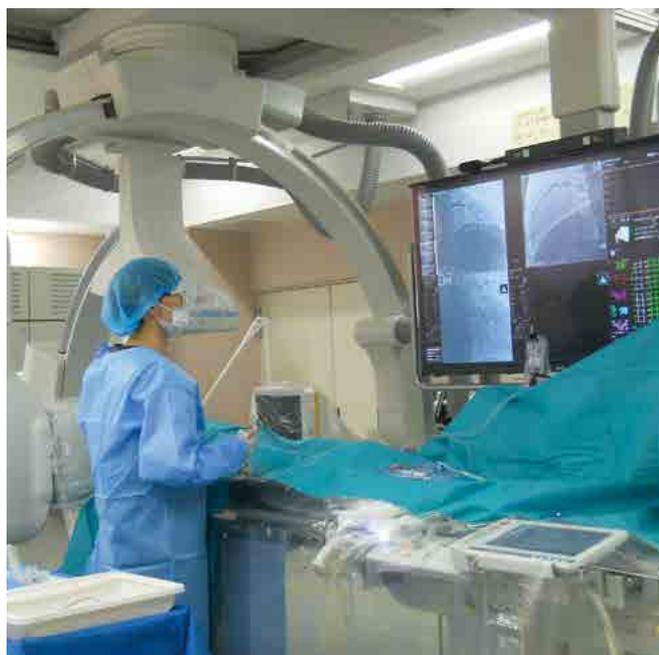
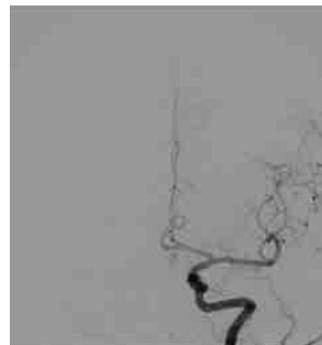
これからも常に万全の準備をして、地域の皆様に安心していただけるよう取り組んで参ります。



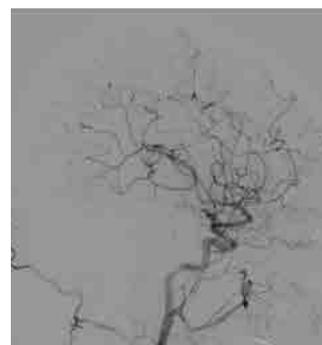
心臓冠動脈



脳血管 (正面)



脳血管 (側面)



## 院内デイケア「夏まつり」を開催しました

認知症ケアチーム  
認知症看護認定看護師 牛山 祐子

当院の認知症ケアチームは、医師・看護師・ソーシャルワーカー・薬剤師・栄養士・リハビリ療法士など多職種で構成したチームが、さまざまな病気によって入院した認知症を有する患者さんと、その患者さんに関わるスタッフに日々支援を行っています。専門的な治療や検査を受けるための入院は、制約が多く、日常生活は劇的に変化します。特に認知症の人は認知機能の低下により、戸惑い、混乱を招くことが多いです。そのような入院生活の中で、季節を感じながら楽しむことで脳の活性化につなげ、ベッドから離れる時間を確保し、職員とともに楽しむ時間を過ごしてほしいと思い、お花見や野菜の苗植え、夏まつり、クリスマスコンサートなど様々な季節のイベントを行っています。



今年は、7月4日に「夏まつり」を開催しました。お面やヨーヨー釣り、金魚すくい、バルーンアートの露店と打ち上げ花火のプロジェクションマッピングなど大人が楽しめる夏まつり会場をチームメンバーで用意しました。当日は、入院患者さん 50 名以上と病院職員が来場し盛況でした。おかめやひよっとこのお面が人気で、ヨーヨー釣りや金魚すくいでは、患者さんとスタッフが童心にかえって楽しむ姿が見られました。スクリーンには迫力のある音とともに色とりどりの花火が大輪の花を咲かせ、「た～まや～」と患者さんの掛け声も聞こえてきました。

会場内は患者さんやスタッフの笑顔があふれ、笑い声が響きわたり、夏の季節を感じながら一緒に楽しむことができました。次回は、病院祭でジャズ喫茶を予定しています。



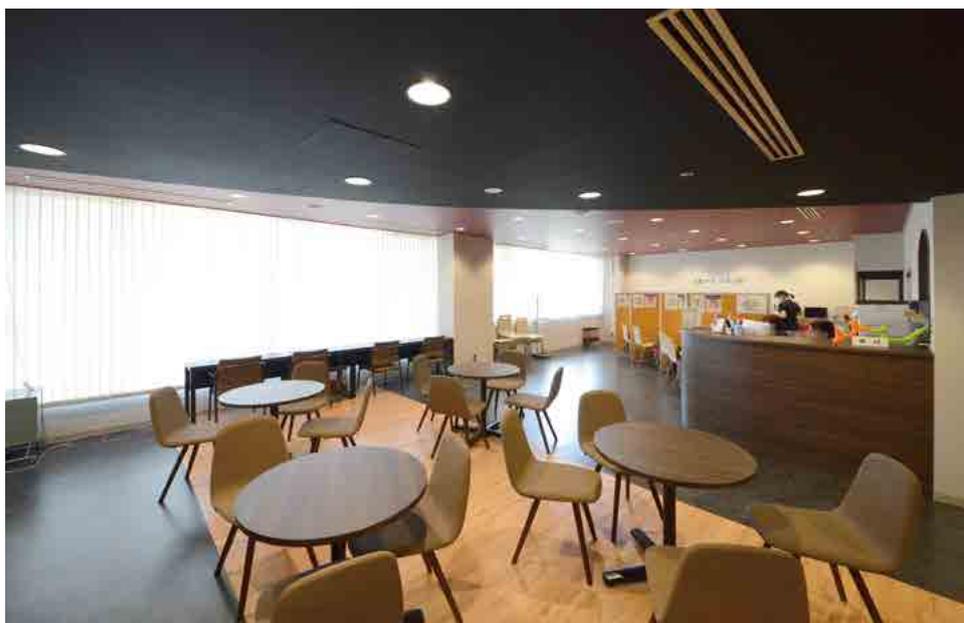
看護師長 成田 賢栄

入院サポートセンターは、入院が決まった患者さんへ必要なお説明をさせていただき安心して入院生活を送っていただくとともに、医療・看護にとって必要な情報を早期にお聞きし、関係する職員で共有していくことで、患者さんにより質の高いケアを提供するためにあります。

担当する職員は看護師6名、医療事務8名、看護師長1名の合計15名です。また、本年7月8日より従来の1階から2階のエレベーターホールの横に移転いたしました。これは、患者さん一人ひとりに寄り添って対応させていただくこと、お待ちいただく時間を少しでもくつろいで過ごしていただくことを目的としております。かかりつけの患者さんには、当面の間ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



入院サポートセンター看護師と松村地域連携室長



入院サポートセンター

# ナースマンに聞いてみた! Vol.4



手術室 宮坂 優希

かつて女性の職場といわれた看護師も男性看護師が増え、当院では3割弱が男性です。そこで「ナースマンに聞いてみた」と題しイケメンナースマン(?)のインタビュー企画を立ち上げました。Q&A式で彼らの素顔に迫ります!

## Q1 看護師になろうとしたきっかけ

高校生の時に入院した経験があり、見てもらった看護師さんにあこがれて、人の役に立つ仕事に就きたいと思い看護師を目指しました

## Q2 現在勤務している部署

手術室勤務です。昨年8月に配属されました。高度な技術が求められる手術室では初めての経験が多く、患者さんの状態に合わせて手術体位や麻酔方法など安全に安心できる看護を提供できるように日々勉強の毎日です。

## Q3 お休み・・・

病院の周辺や上田市内には美味しいラーメン屋や温泉が多いので巡ったり、ゴルフや映画鑑賞などアクティブに活動しています。

## Q4 今後、看護師として・・・

手術に対する不安や麻酔に関する質問など、患者さんが安心して手術を受けられるように、患者さんの目線にたった信頼される看護師を目指しています。



## 上司から一言

現在、手術室では男性看護師が3名ほど在籍しています。宮坂さんは、器用さを生かし繊細な器械を使用する手術などで活躍しています。これからも、患者さんに頼られる存在として日々学びを深め活躍してってください。





## 目薬正しく使えていますか？

10月10日は「目の愛護デー」です。もともとは失明予防の運動として制定されましたが、今では目の健康を守るための記念日となっています。

目は私たちが生活をする上で非常に重要な臓器です。普段は意識をすることがなくても、目に影響を及ぼす疾患はいくつもあり、治療に目薬を使ったことがない人は少ないと思います。皆さんは正しく目薬を使えていますか？改めて正しい目薬の使い方を確認しましょう。

### 目薬は1回に何滴させばいいの？

目薬は1回に1滴の点眼で十分に効果が発揮されるようになっていきます。目の表面に保持できる水分量は目薬1滴よりも少ないため、たくさん点眼しても余分な目薬は鼻腔に流れていってしまいます。効果が変わらないだけでなく、余分な薬剤による副作用が出てしまう可能性もあります。

### 複数の目薬をさす場合にはどうしたらいいの？

2種類以上の目薬を点眼する場合は、それぞれの目薬の間は5分以上空けるようにしましょう。5分経てば目薬の大部分は吸収されているため、次の目薬を点眼することで前の薬剤が洗い流されてしまうことを防ぐことができます。目薬の数が多くなると待ち時間が増えますが、しっかりと目薬の効果を発揮するために必要な時間なので守るようにしましょう。

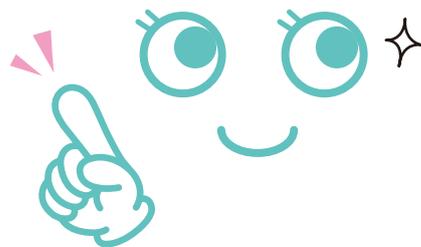
### 目薬をさす順番は決まっているの？

目薬の種類により、効果に影響が出る場合があります。振り混ぜてから使用する目薬や粘り気の高い目薬などは先に点眼してしまうと、次の目薬を点眼した際に効果が出る前に洗い流してしまう可能性があります。目薬が複数ある場合は、医師、薬剤師の指示通りに点眼をしましょう。

目薬を使う上でよくある質問について改めて確認をしました。目薬を正しく使い、目を大切にしていきましょう。

10月10日は  
目の愛護デー  
です

目薬を正しく  
使って  
目を大切に



秋は食材の宝庫です。涼しくなる季節に合わせて、栗やさつまいも、きのこ、柿などが旬を迎えます。これらの食材を使った料理は、心も体も温めてくれることでしょう。そんな秋の味覚の魅力とおすすめレシピをご紹介します。

### さんま（秋刀魚）

秋刀魚は日本の秋の代表的な魚です。脂がのっていて、塩焼きが定番。刺身やフライでも美味しくいただけます。さんまは、DHA や EPA が豊富で、血栓や脳梗塞の防止に効果があります。また、ビタミンD やカルシウムも含まれ、骨や筋肉の健康をサポートします。

### かぼちゃ

かぼちゃは秋の野菜の王様とも言える存在。甘みが強く、ほくほくした食感が楽しめます。ハロウィンや冬至にも欠かせない食材です。β - カロテン、ビタミンC、ビタミンE が豊富で、抗酸化作用や免疫力向上に役立ちます。カレーやポタージュ、かぼちゃの煮物など、バリエーション豊かに楽しめます。

## Autumn おすすめレシピ //



### 鮭とかぼちゃのクリームシチュー

<材料（2人分）>

鮭	150g	小麦粉	大さじ2
塩こしょう	少々	バター	20g
小麦粉	適量（鮭用）	水	200cc
かぼちゃ	100g	牛乳	300cc
玉ねぎ	100g	コンソメ	小さじ1
ブロッコリー	100g	塩こしょう	少々

### <作り方>

- ① 鮭は食べやすい大きさに切る（骨が気になる方は骨取をしてください）。
- ② 鮭に塩こしょうをふり、小麦粉をまぶす。
- ③ フライパンに油を引いて熱し、鮭に焼き色が付くまで中火で焼いたのち、一旦取り出す。
- ④ かぼちゃは皮ごと2～2.5cm角、玉ねぎは薄切りにする。ブロッコリーは小房に分け、電子レンジ（600W）で1分ほど加熱する。
- ⑤ フライパンにバターを溶かし、玉ねぎを炒めたのち小麦粉を加え、粉っぽさがなくなるまで炒める。
- ⑥ 水を少しずつ加えて混ぜ合わせ、かぼちゃと鮭を入れてフタをする。かぼちゃに火が通るまで弱火で10分ほど煮る。
- ⑦ 牛乳、塩こしょう、コンソメを加えてとろみがつくまで弱火で加熱する。
- ⑧ ブロッコリーを加え、混ぜ合わせたら完成。

### 最後に

いかがでしたでしょうか。秋が旬の食べ物をみなさんもぜひ食べてみてください。

## 地域医療連携室の紹介



地域医療連携室は、地域の医療機関、介護福祉施設、行政など連携し、患者さんに切れ目のない医療・看護・介護を提供するための部門です。

様々な職種が関り、安心して地域で生活できることを目指しています。

そのため、急性期治療から慢性期に移行する際はどのような療養環境を希望されているか意向を伺い、適切な転院先を確保する必要があります。当院は、上田圏域において急性期医療を担っており昼夜を問わず救急搬送を受け入れるよう取り組んでおりますが、満床のため救急依頼をお受けできないことがあります。いつでも救急要請に応えることができるよう早期退院支援と同時に、地域の病院・医院・各施設の方々のご協力を得て対応させていただいております。地域住民の皆様へ、より一層安心して望む医療を提供することができるよう当院の搬送スキームを拡大中です。どうぞ、よろしくお願いいたします。



### 構成メンバー

医師	2名
看護師	14名
医療ソーシャルワーカー	6名
事務員	7名

地域医療連携のカンファレンスは院内の支援チームや、院外で連携する多くの方々と行っています



## 地域医療連携室の役割

### 入院支援・前方連携

- ・地域の医療機関（病院・医院・各施設）からの紹介により患者さんの外来予約をお取りします。
- ・地域の医療機関からの依頼により、当院のCT・RI等の医療機器を共同利用を推進しています。

### 退院支援・後方連携

- ・限られた病床で、重症の方々を受け入れるため入院中の患者様には協力をお願いしております。
- ・退院後の療養生活については、患者ご本人・ご家族と一緒に考え、支援をさせていただきます。退院支援の看護師、医療ソーシャルワーカーが、地域の医療機関や在宅サービス事業所、保健所や行政との医療・介護・福祉の連携を図りますので、どうぞご相談ください。

(介護保険申請・介護保険を利用したサービス内容・負担軽減制度の利用等)

- ・施設サービスの種類について

どのような介護が必要かによって4つのタイプがあり、利用される場合は直接申し込みが必要です。

生活介護が中心の施設  
常時介護が必要で家庭では介護が困難な方で、原則として要介護3以上です。  
(特別養護老人ホーム)

介護やリハビリテーションが中心の施設  
医学的管理の下でリハビリ等を行い、在宅生活復帰を目指します。  
(介護老人保健施設・介護療養型老人施設)

医療が中心の施設  
急性期の治療が終わり長期の療養を必要とする方。(介護療養型医療施設)

長期療養と介護が一体的な施設  
長期的な医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者が対象です(介護医療院)

### その他

- ・セカンドオピニオンの相談、ご予約
- ・医療費や生活費等の経済的問題に対する相談、福祉制度の活用など
- ・身寄りのない患者さん、複合的な社会的課題、就労支援
- ・妊娠 SOS 窓口等



## がん相談支援センターの紹介

相談窓口…1階 地域医療連携室内  
平日(祝日除く)月～金 9:00～16:00  
☎0268-22-1895(直通)

- ・がんに関するさまざまなご相談について、当院に受診されている方だけでなく、ご家族、他院受診中の方、地域住民の方など、どなたでも無料でご利用いただけます。
- ・近年、インターネットやテレビ、雑誌などから容易にがんに関する情報にアクセスできるようになりました。しかし、その情報が信頼できるものかどうか判別が難しく、危険・有害な情報や広告であることも多いのが現状です(根拠の乏しい民間療法、多額の費用がかかる自費診療など)。
- ・相談窓口には、科学的根拠(エビデンス)に基づく患者さん向けの「ガイドライン」(持ち帰り不可)や、国立がん研究センターが提供する「がん情報サービス」の冊子(持ち帰り可)を取り揃えております。
- ・がん相談支援センターへぜひお立ち寄りください。



相談員が悩みを一緒に考え、不安を解消するためのお手伝いをいたします(電話相談も可)

## がん患者サロン「ふれあいサロンうえだ」 毎月第3木曜日 13時半～15時(10月のみ金曜開催)

- ・がん患者さんとご家族が集い語り合うことができるサロンです。
- ・治療のこと、生活のこと、家族のこと、他の人の体験を聞いてみたい…など自由にお話しできる場です。
- ・毎月テーマを決めてミニ勉強会や体験会も行っています。事前申し込み・参加費は不要です。

日時	テーマ	担当	会場
10月18日(金)	感染予防・感染対策	感染管理認定看護師	第2会議室
11月21日(木)	抗がん剤の副作用について	がん化学療法看護認定看護師	第2会議室
12月19日(木)	がん治療中の食事の工夫	管理栄養士	第1会議室
1月16日(木)	人工肛門・人工膀胱ってなんだろう?	皮膚・排泄ケア認定看護師	第2会議室
2月20日(木)	運動とリラクゼーション	理学療法士・作業療法士	講堂
3月27日(木)	介護保険制度ってなんだろう? ～地域包括支援センターのご紹介～	地域包括支援センター	第1会議室

## 新任医師のご紹介



### 整形外科医師 樽田 大輝

7月より整形外科に着任いたしました。当院での勤務は4年ぶり2回目となります。皆様と共に、より良い地域医療の発展に尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



### 小児科医師 丸山 夏樹

スキーが好きで長野に来ました! 良い医療を提供できるように精進いたします。よろしくお願いいたします。



### 整形外科医師 善賤 未結

初めまして、整形外科の善賤と申します。出身は長野市で、東信地区での勤務は初めてです。一般整形外科、外傷をメインに診療しています。お困りのことがありましたらお気軽にご相談ください。よろしくお願いいたします。



### 整形外科医師 関 駿一

整形外科の関と申します。お困りのことがありましたらお気軽にご相談ください。よろしくお願いいたします。

## 地域の皆様に

## 医療や健康に関する講座をお届けします。

# 出前講座のご案内

「この街の医療をささえる病院」として、地域に向いて出前講座を行います。出前講座とは、信州上田医療センターの医師・職員が地域の皆様の医療や健康に関する「知ってよかった」と思っていたくためのお手伝いをする、医療・健康に関する講座です。現在、10診療科以上、約40講座からお選びいただけます。

テーマは下記の通りご用意しており、お話しさせていただく先に合わせた、わかりやすい講座を目指しております。費用は無料です。会場、講師の送迎、教材費はお申込みいただいた団体にてご用意ください。

No.	演題	講師名(診療科・所属部署・役職名)	備考
1	上小地域の医療状況について	藤森 実(院長)	
2	信州上田医療センターの現状について	藤森 実(院長)	
3	上小地域のがん診療体制について	小松 哲(がん診療推進室長)	
4	上小地域の救急体制について	藤森 実(院長)	
5	C型肝炎の新しい治療	吉澤 要(名誉院長)	
6	お酒と肝臓	吉澤 要(名誉院長)	
7	肝臓病と食事・日常生活	吉澤 要(名誉院長)	
8	鼠径ヘルニア(脱腸)のはなし	横山 隆秀(副院長・外科系診療部長)	
9	胆石症・胆のう炎について	横山 隆秀(副院長・外科系診療部長)	
10	おなかの病気を治す腹腔鏡手術	横山 隆秀(副院長・外科系診療部長)	
11	乳がんの検診について	小松 哲(乳腺内分泌外科部長)	
12	乳がんの治療について	小松 哲(乳腺内分泌外科部長)	
13	腎臓の病気と透析	高橋 寧史(腎臓内科医長)	できるだけご要望に沿った内容にしますのでご相談下さい。
14	糖尿病患者のフットケア	棚田 芳享(副看護師長・日本糖尿病療養指導士)	
15	正しい手洗いについて	原 かおり(副看護師長・感染管理認定看護師)	
16	冬季の流行感染症について ～インフルエンザ～	原 かおり(副看護師長・感染管理認定看護師)	
17	冬季の流行感染症について ～ノロウイルス～	原 かおり(副看護師長・感染管理認定看護師)	
18	出来る事から始めましょう！脳卒中にならないように(予防治療のお話し)	大屋 房一(脳外科部長・救急部長)	月・金曜日 開始時間は要相談です。通常1～1.5時間程度です。聴講される方に応じて内容を調整します。これまでに地域の自治会等から依頼をいただきました。
19	“いつもと違う頭痛”と脳の病気のお話し	大屋 房一(脳外科部長・救急部長)	月・金曜日 開始時間は要相談です。通常1～1.5時間程度です。聴講される方に応じて内容を調整します。
20	これなら出来る救命処置(心臓マッサージのやり方、AEDの使い方)	大屋 房一(脳外科部長・救急部長)	月・金曜日 開始時間は要相談です。通常1～1.5時間程度です。聴講される方に応じて内容を調整します。これまでに、域内企業の集会や中学生の課外授業、自治会のから依頼をいただきました。
21	肺がんについて	吾妻 俊彦(呼吸器内科医長)	
22	睡眠時無呼吸症候群について	吾妻 俊彦(呼吸器内科医長)	
23	無痛分娩について	松村 英祥(産科部長)	無痛分娩とは 無痛分娩のメリット 無痛分娩の方法
24	若年女性のスポーツ障害について	松村 英祥(産科部長)	性周期と産婦人科的な問題点
25	排尿の問題を考える	水沢 弘哉(統括診療部長)	尿がもれる、出にくい等原因と治療について 月・木曜日以外
26	前立腺がんの予防・検査・治療	水沢 弘哉(統括診療部長)	前立腺がん全般について 月・木曜日以外
27	尿路結石の予防と治療	三村 裕次(泌尿器科医長)	尿路結石の予防法と最新の治療について 月・水・金曜日以外
28	地震災害への備えと対応について	高野 博子(災害対策室員)	地震が起こったらどのように行動するとよいのか、その備えと対応について
29	糖尿病の運動療法 ～楽しく運動しましょう～	西澤 順次(理学療法士)	生活習慣病である糖尿病の予防・改善のため、日々の運動について考える機会として
30	がん相談について	永井 智恵子(がん診療推進室・がん相談支援係)	
31	がんと診断されたら	永井 智恵子(がん診療推進室・がん相談支援係)	・がんと言われたつらい気持ち ・医療者との関係 ・情報を探す
32	尿に血液がまじること	小川 輝之(泌尿器科部長)	血尿の説明とそれをきたす疾患について 火・木・土・日曜日を希望します。
33	ロボット支援手術:前立腺・腎・膀胱	小川 輝之(泌尿器科部長)	泌尿器科疾患におけるロボット手術について 火・木・土・日曜日を希望します。
34	骨粗鬆症について ～骨を丈夫にしていきて～	吉村 康夫(特命副院長・整形外科部長)	骨粗鬆症の検査(診断)、治療(栄養、運動、薬)、予防について説明します。
36	ロコモティブシンドローム(運動器症候群) ～ロコモ克服で長く元気に～	吉村 康夫(特命副院長・整形外科部長)	ロコモティブシンドローム(運動器症候群)とは何か?ロコモ度判定と予防のためのトレーニングについて説明します。
37	がんロコモ ～がん治療中も元気で過ごすために～	吉村 康夫(特命副院長・整形外科部長)	がん治療中の運動器(活動性)に関する問題と解決方法について整形外科の立場で解説、提案します。
38	糖尿病の食事について	小川 祐介(栄養管理室長)	
39	腎臓病の食事について	濱田 健志(主任栄養士)	
40	筋筋して健康寿命を延ばそう～食事のポイント～	小川 祐介(栄養管理室長)	

〒306-0810長野県上田市緑が丘1-27-21 国立病院機構信州上田医療センター 事務部経営企画室 志田

◎詳細につきましては、当院HPをご覧ください。左記にお問い合わせ下さい。

# 外来診療担当表

令和6年9月1日

診療科	曜日	月	火	水	木	金
総合診療科(内科新患外来)		交代(内科系医師)	松本 隆一	滋野 俊(第5水曜日休診)	交代(内科系医師)	交代(内科系医師)
内 科					松本 隆一	
糖尿病・内分泌代謝内科		山岸 光一	知見 萌子(午前) 川田 伊織(午後)	(信大医)	知見 萌子	川田 伊織
脳神経内科(予約制)		江澤 直樹(全日) 上條 祐衣(午後)	古谷 力也(全日)	江澤 直樹(午前) 澤田 美乃里(午後)	古谷 力也(午前) 澤田 美乃里(午前)	上條 祐衣(午前)
呼吸器内科		町田 良亮	出浦 弦(第1・3・5週午前) 山崎 椋(午後)	吾妻 俊彦 山崎 椋	町田 良亮	吾妻 俊彦
消化器内科		橋上 遣太	黒沢 晃伸	藤森 一也 木村 颯汰	田中 綾乃	安藤 皓一郎
肝臓内科		藤森 尚之		(担当医)	藤森 尚之	(担当医)
腎臓内科		古川 鉄兵	高橋 寧史	高橋 寧史	増田 知恵	
循環器内科		阿部 直之 森田 岳宏	高橋 清 富岡 哲也	阿部 直之 有賀 智輝	高橋 清 富岡 哲也	森田 岳宏 有賀 智輝
緩和ケア内科(予約制)			清水 文彰(午後)		清水 文彰	
小児科		藤森 充帆 齊間 貴大 澤柳 摩耶	石田 岳史 齊間 貴大 矢澤 志織	藤森 充帆 矢澤 志織 澤柳 摩耶 丸山 夏樹	石田 岳史 藤森 充帆 澤柳 摩耶	石田 岳史 中沢 洋三 齊間 貴大 矢澤 志織
発達外来(予約制)		永春 幸子				
外科・消化器外科		村中 太	横山 隆秀 清水 文彰 増尾 仁志 唐澤 齊秀(午後)	黒岩 雄大	横山 隆秀 村中 太 瀬原田 魁 唐澤 齊秀(午後)	増尾 仁志
呼吸器外科		齋藤 学	(手術日)	交代制(院内紹介のみ)	(手術日)	井手 祥吾
乳腺内分泌外科		小松 哲 小松 英明	(手術日)	小松 哲 小松 英明	(手術日)	小松 哲 小松 英明 (信大医)
整形外科		赤羽 努 樽田 大輝	吉村 康夫 関 駿一	赤羽 努 善戩 未結 (信大医)	樽田 大輝 関 駿一	吉村 康夫 善戩 未結
形成外科		成松 巖 相阪 哲也	成松 巖 大槻 仁志	成松 巖 相阪 哲也	(手術日)	成松 巖 大槻 仁志
脳神経外科		東山 史子 大屋 房一	木内 貴史 大屋 房一		東山 史子	木内 貴史 大屋 房一
心臓血管外科				佐久医療センター医 (予約のみ)	岡田 良晴(午後) (受付15:00まで)	
皮膚科		鈴木 里香(完全予約)	鈴木 里香(完全予約)	鈴木 里香(完全予約)	鈴木 里香(完全予約)	鈴木 里香(完全予約)
泌尿器科		水沢 弘哉 雫田 繕雅 小川 輝之(午後)	小川 輝之 三村 裕次	(手術日)	水沢 弘哉 雫田 繕雅	小川 輝之 三村 裕次
産科(午前)		宮下 真奈美	松村 英祥	松村 英祥	宮下 大輔	井手 里紗
(午後)		(手術日)	(手術日)	1か月健診	松村 英祥	(手術日)
婦人科(午前)		松村 英祥	井手 里紗	宮下 大輔	宮下 真奈美	塚田 彩加
(午後)		(手術日)	(手術日)	(検査日)	(検査日)	
眼科		(信大医)		(第1・第3水曜日 手術日)	(信大医)	(信大医)
耳鼻咽喉科		鈴木 宏明 品川 潤	(手術日)	品川 潤 堀 由希子	品川 潤(午前) 堀 由希子(午前) (手術日)(午後)	鈴木 宏明 堀 由希子
放射線科(予約制)		小沢 岳澄	小沢 岳澄	小沢 岳澄	小沢 岳澄(再診のみ)	小沢 岳澄
歯科口腔外科(予約制)		小山 吉人 清水 黎	上原 忍 小山 吉人 (信大医) 栗田 浩	上原 忍 清水 黎	(手術日)	上原 忍 小山 吉人
スキンケア外来			9:00~17:00予約制			9:00~17:00予約制
糖尿病透析予防ケア外来		9:00~15:00予約制 (第1・4週)	9:00~15:00予約制 (第2週火曜日)	9:00~15:00予約制 (第1・3週)	9:00~15:00予約制 (第2・3週木曜日)	9:00~15:00予約制 (第1週金曜日)
睡眠時無呼吸外来			14:00~17:00予約制 (第1・4週火曜日)			
禁煙外来						予約制

- ・皮膚科を受診される方へ 初診又は当院での治療終了後、新たに受診される方は必ず紹介状をご持参の上お越しく下さい。
- ・診療受付時間 8時30分から11時まで ※予約については、午後も対応しております。
- ・休日：土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)
- ・次回発行までに変更がある場合があります。ホームページでご確認をお願いいたします。

次の場合には紹介状をご持参下さい。

- ①当院を初めて受診する場合
- ②前回受診より3ヶ月あいたが開いた場合(予約は除く)
- ③医科受診中に歯科口腔外科を受診する場合

○紹介状が無い場合は医療費とは別に選定療養費をご負担いただきます。

★第5水曜日の総合診療科は休診となります。  
ご理解、ご協力の程よろしく申し上げます。

講演テーマ

## 『泌尿器科の ロボット手術』

講師 小川輝之 医師

国立病院機構信州上田医療センター泌尿器科部長  
ロボット支援手術センター長



ゲスト 宮本亜門さん(演出家)

講演テーマ

## 『亜門のがん日記』

2004年東洋人初の演出家としてニューヨークのオン  
ブロードウェイにて「太平洋序曲」を上演。

2019年、健康番組で受けた人間ドックで、前立腺に  
がんのあることが判明する。5月に前立腺の摘出手術  
を受けた。その後も精力的に国内外で活動している。

受講申し込みは  
お電話で0268-22-1890  
またはQRコードから



第8回

# 上田地域がん市民公開講座(令和6年度)

当院医師の最新情報による泌尿器がんと治療の解説、  
豪華ゲスト関病記の講演を通して、ロボット支援手術が身近な  
時代の“がん治療”を皆さんと共に考えます。

# “身近に なった ロボット 手術”

令和6年

開場 13:00

## 12月7日(土) 13:30~16:00

会場: 上田市交流文化芸術センター サントミュージゼ 小ホール

地域がん診療病院・地域医療支援病院

### 信州上田医療センター

独立行政法人国立病院機構 Shinshu Ueda Medical Center

長野県上田市緑が丘1丁目27番地21号

TEL: 0268-22-1890 FAX: 0268-24-6603

●お問い合わせ先 事務部企画課経営企画室 担当/富永泰平

参加費無料

主催/国立病院機構信州上田医療センター

共催/上田市

後援/上田地域広域連合(上田市・東御市・青木村・長和町・坂城町)

上田市医師会・小県医師会・上田小県歯科医師会・上田薬剤師会・上田青年会議所

※ご高齢の来場者も多いため、会場入り口での手指消毒と会場内のマスク着用にご協力をお願いいたします。  
※発熱等の症状がある方はご来場をご遠慮ください。

# 「考えよう! 上田地域 私たちの救急医療」

## シンポジウム テーマ: 上手な医療のかかり方

日 時: 令和6年12月15日(日) 午後1時30分~午後3時頃(開場午後1時予定)

場 所: 上田市丸子文化会館セレスホール

その他: 参加費無料、予約不要

主催・お問い合わせ: 上田地域広域連合地域医療対策課 TEL0268-43-8818

共催: 上田市、東御市、青木村、長和町、坂城町

後援: 信州上田医療センター、上田市医師会、小県医師会、上田薬剤師会、長野県、上田市自治会連合会

### 内 容:

#### ① パネルディスカッション

コーディネーター: 信州上田医療センター 第一救急部長 大屋 房一氏

パネリスト: 信州上田医療センター 第二救急部長 吉本 広平氏

小林脳神経外科・神経内科病院院長 鳥羽 泰之氏

上田地域広域連合消防本部

#### ② ロビー展示

#7119及び#8000の紹介、健康チェックコーナーなど

上田地域(上田市・東御市・青木村・長和町)の昨年1年間の救急搬送は1万件を超えました。

私たち信州上田医療センターではそのうちの約4割を受け入れています。

このまま救急搬送が増加し続けると、スムーズな救急車の出動や病院での受け入れが困難になってしまいます。

救急医療や消防現場で働く方の声を聞き、救急医療について考えませんか。

### 編集後記

夏が終わり秋の涼しさを感じる季節となりました。

私自身令和6年4月に上田に着任し早6か月となりました。

これまで勤務してきた病院と比べても地域との結びつきが強く感じられることが多く、文字通り地域密着の病院であると実感しております。

これからも広報誌「みどりが丘だより」や公式SNSなどを通じて様々な情報を発信してまいりますので、引き続きよろしくお願いたします。

事務部 管理課長 有泉 幸浩



独立行政法人国立病院機構 信州上田医療センター  
〒386-8610 長野県上田市緑が丘 1-27-21  
TEL0268-22-1890 (代表)  
FAX ① 0268-24-6603 (代表)  
FAX ② 0268-22-1893 (地域医療連携室)  
<https://shinshuueda.hosp.go.jp/>  
発行 令和6年10月 発行人 院長 藤森 実

# 信州上田医療センターでは 病院職員を募集しています。

## 看護職員 募集



募集職種 人数	看護師（常勤職員）20名	看護師 （非常勤職員） 若干名	助産師 （非常勤職員） 若干名	業務技術員 〔看護助手〕 （非常勤職員） 若干名	事務助手 〔医師事務作業補助者〕 （非常勤職員） 若干名
採用時期	令和7年4月1日～（看護専門学校等今年度卒業見込の方も歓迎です）	随時～令和7年3月31日 （雇用期間は、1事業年度毎の更新です）			
勤務時間	4週155時間勤務（4週8休） 週38時間45分勤務 勤務場所により二交替、三交替勤務になります。	勤務日数、勤務時間については要相談（週32時間以内の勤務） ※看護師、助産師については夜勤専従等短時間勤務も募集しております。			
給与等	【基本給】211,000円から 勤務経験により加算 【手当】扶養手当、通勤手当、夜間看護手当等実績により支給	【時間給】 1,630円 【手当】 通勤手当	【時間給】 1,680円 【手当】 通勤手当	【時間給】 1,230円 【手当】 通勤手当	【時間給】 1,200円 【手当】 通勤手当
提出書類	新卒：履歴書、卒業見込み証明書、成績証明書 既卒：履歴書、卒業証明書、看護師免許証（写） ※詳細は管理課給与係長まで問い合わせ願います。	履歴書、経歴書、 看護師免許証 （写）等	履歴書、経歴書、 看護師、助産師免 許証 （写）等	履歴書、経歴 書、資格証が あればその （写）等	履歴書、経歴書、資格 証があればその（写） 等

職員採用情報は  
こちらから▶▶▶



（お問い合わせ）TEL（0268）22-1890（代）  
〒386-8610 長野県上田市緑が丘 1-27-21 担当：管理課給与係長